

## 1 月別気象概況（平成 24 年 1 月～12 月）

福岡管区气象台

### （1）1 月の気象概況

**1 月上旬：期間を通して気圧の谷や寒気の影響を受けて曇りや雨の日が多く、みぞれや雪の日もあった。**

期間を通して気圧の谷や寒気の影響を受けて曇りや雨となる日が多く、みぞれや雪の日もあった。

気温は、期間のはじめと終わりに平年を上回る日もあったが、その他は平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を下回るところが多かった。

県内各地の旬平均気温は 2.6～6.3℃（平年差－1.8～－0.4℃）で低く、旬降水量は 0.0～12.0mm（平年比 0～63%）で概ね少なく、旬日照時間は平年比 63～112%で概ね少なくなった。

**1 月中旬：気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。**

この期間は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となる日が多かった。19 日は九州南岸を通過した低気圧の影響により、県内全域でややまとまった雨となり、日降水量 5.0～18.0 mm を観測した。

気温は、期間の中頃まで平年を下回る日が多かったが、終わりは平年を大きく上回り、旬では県内各地で概ね平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 4.6～7.3℃（平年差－0.2～0.9℃）で平年並の所が多く、旬降水量は 7.5～25.0mm（平年比 38～101%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 61～88%で概ね少なくなった。

**1 月下旬：期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃は冬型の気圧配置による強い寒気や気圧の谷の影響で曇りや雪の日が多かった。**

**博多、英彦山、久留米で「月降水量の少ない方から」の極値を更新した。**

期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多かった。期間の中頃は冬型の気圧配置による強い寒気や気圧の谷の影響で曇りや雪となる日が多かった。

1 月は降水量がかなり少なく、月降水量は博多 23.0 mm、英彦山 46.0 mm、久留米 23.0 mm を記録し、1 月の「月降水量の少ない方から」の極値を更新した。

気温は、期間のはじめと終わりに平年を上回る日があったが、期間の中頃は平年をかなり下回る日があり、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 2.6～5.5℃（平年差－0.1～－1.2℃）で概ね低く、旬降水量は 0.5～18.0mm（平年比 2～72%）で概ね少なく、旬日照時間は平年比 113～144%で多くなった。

(2) 2月の気象概況

**2月上旬：**期間を通して冬型の気圧配置となることが多く、寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪となった。寡照。

博多で「日最高気温の低い方から」、博多と大牟田で「日最低気温の低い方から」の極値を更新した。

期間を通して冬型の気圧配置となることが多く、強い寒気の流入や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪となった。中頃は、九州の南岸にのびる前線の影響を受けて、この時期としてはまとまった雨となった。

また、強い寒気の影響で、2日に博多で2.8℃の日最高気温を記録し「日最高気温の低い方から」の2月の極値を更新した。さらに、3日には博多で-3.4℃、大牟田で-5.8℃の日最低気温を記録し「日最低気温の低い方から」の2月の極値を更新した（博多では、通年の極値も更新）。

気温は、期間の中頃に平年を上回る日があったが、その後は平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回ったところが多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は1.9～4.2℃（平年差-3.0～-1.7℃）で低く、旬降水量は16.5～53.0mm（平年比75～231%）で概ね多く、旬日照時間は平年比25～49%でかなり少なくなった。

**2月中旬：**晴れの日もあったが低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨や雪の日が多かった。

期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日があったが、13～15日にかけては低気圧や前線の影響で雨となり、17～19日にかけては冬型の気圧配置と強い寒気の影響で雪となった。福岡では18～19日にかけて積雪があり18日5cm、19日3cmの日最深積雪を観測した。

気温は、期間の中頃に平年を上回る日があったが、その後は平年を大きく下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回ったところが多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は3.0～5.1℃（平年差-3.0～-2.0℃）で低く、旬降水量は20.5～61.0mm（平年比86～149%）で概ね多く、旬日照時間は平年比70～95%で概ね少なくなった。

**2月下旬：**晴れの日もあったが低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く雪の日もあった。

多雨。寡照。

2月の「月間日照時間の少ない方から」「月平均気温の低い方から」「月降水量の多い方から」の極値更新があった。

期間のはじめは前線や低気圧の影響で曇りや雨となり、その後、天気は短い周期で変化した。28日夜から29日未明にかけては、九州の南岸を東進する低気圧に向かって寒気が流入し、北部沿岸を中心に雪となり、福岡では最深積雪3cmを観測した。

2月は期間を通して曇りや雨または雪の日が多く、宗像、八幡、行橋、前原、太宰府、添田、朝倉、久留米、黒木、大牟田で2月の「月間日照時間の少ない方から」の極値を更新した。また、博多で2月の「月平均気温の低い方から」の極値を、博多と耳納山で2月の「月降水量の多い方から」の極値を更新した。

気温は、期間の前半は平年を上回る日が多く、後半は平年を下回る日が多かったが、旬では県内各地で概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は5.6～8.1℃（平年差-1.8～0.8℃）で平年並、旬降水量は59.5～96.0mm（平年比164～318%）で概ねかなり多く、旬日照時間は平年比61～89%で概ね少なくなった。

(3) 3月の気象概況

**3月上旬：期間を通して前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。高温。寡照。**

高気圧に覆われて晴れの日もあったが、期間を通して前線や低気圧の影響を受けやすく曇りや雨の日が多く、日照時間は9.7～21.6時間でかなり少なくなった。

気温は、県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は8.0～10.1℃（平年差1.1～2.1℃）で高く、旬降水量は40.5～67.0mm（平年比94～151%）で平年並か多くなり、旬日照時間は平年比25～46%でかなり少なくなった。

**3月中旬：前半は高気圧に覆われて晴れたが後半は気圧の谷の影響で曇りや雨。**

期間の前半は高気圧に覆われて晴れたが、後半は気圧の谷の影響で曇りや雨となった。

気温は期間の後半、平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年並となった。

県内各地の旬平均気温は7.1～9.7℃（平年差-1.8～-0.6℃）で概ね低く、旬降水量は3.5～33.5mm（平年比9～72%）でかなり少ないところが多く、旬日照時間は平年比87～114%で平年並となった。

**3月下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが23日は前線を伴った低気圧の通過でまとまった雨。多雨。多照。**

太宰府、久留米、黒木、柳川、大牟田で「最大1時間降水量」 宗像、博多、耳納山、大牟田で「日降水量」 耳納山で「月降水量の多い方から」 八幡、博多で「日最低気温の高い方から」のそれぞれ3月の極値を更新。

期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、23日は前線を伴った低気圧が九州北部を通過し県内全域でまとまった雨となった。この雨で、太宰府、久留米、黒木、柳川、大牟田で「最大1時間降水量」の3月の極値を更新、宗像、博多、耳納山、大牟田で「日降水量」の3月の極値を更新し、耳納山では「月降水量の多い方から」の3月の極値を更新した。また、30日は八幡、博多で「日最低気温の高い方から」の3月の極値を更新した。

気温は、前半は平年を下回る日が多かったが後半は平年を上回る日が多く、旬では県内各地で概ね平年を上回り、降水量と日照時間は、県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は9.7～12.0℃（平年差-0.4～0.7℃）で平年並、旬降水量は51.0～125.5mm（平年比146～239%）でかなり多く、旬日照時間は平年比145～162%でかなり多くなった。

(4) 4月の気象概況

**4月上旬:高気圧に覆われて晴れの日が多かったが3日は急速に発達する低気圧の通過で強風。少雨。多照。**

**八幡、行橋、前原、太宰府、久留米、大牟田で「日最大風速」の4月の極値を更新。**

期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、3日は前線を伴い急速に発達する低気圧が、朝鮮半島から日本海に進み未明から雷を伴い荒れた天気となった。この低気圧の影響により県内全域で西寄りの風が強く、八幡、行橋、前原、太宰府、久留米、大牟田で「日最大風速」の4月の極値を更新した。

気温は、平年を上回る日もあったが平年を下回る日が多く、旬では県内各地で概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は、県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 10.8~13.7℃ (平年差-1.5~0.5℃) で概ね平年並、旬降水量は 5.0~28.0mm (平年比 11~49%) で少なく、旬日照時間は平年比 133~150% で概ねかなり多くなった。

**4月中旬:期間の中頃は高気圧に覆われて晴れたがその他は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨。11日はまとまった雨。高温。**

期間の中頃は高気圧に覆われて晴れたが、その他は前線や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨となった。11日は前線を伴った低気圧が九州北部を通過し、県内全域でまとまった雨となった。

気温は、期間の前半に平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回り、降水量と日照時間は平年を上回る所が多くなった。

県内各地の旬平均気温は 14.2~16.4℃ (平年差 0.4~1.6℃) で高く、旬降水量は 32.0~66.0mm (平年比 82~144%) で概ね平年並、旬日照時間は平年比 87~106% で概ね平年並となった。

**4月下旬:天気は数日の周期で変化。高温。**

天気は数日の周期で変わった。24日は高気圧に覆われて良く晴れ、県内全域で 25℃以上の夏日となった。25~26日にかけては低気圧の通過に伴って雨になり、県南部で雨量が多くなった。

気温は、期間の後半に平年を下回る日もあったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を上回るところが多く、日照時間は平年を下回るところが多くなった。

県内各地の旬平均気温は 16.4~18.6℃ (平年差 1.1~2.1℃) で高くなった。旬降水量は 24.0~94.5mm (平年比 56~165%) で多いところが多く、旬日照時間は平年比 95~102% で平年並となった。

(5) 5月の気象概況

**5月上旬：天気は短い周期で変化。高温。少雨。**

1～3日にかけては、太平洋側を進む低気圧の影響を受け県内各地で雨となった。その後は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、7～8日にかけては日本海の低気圧や気圧の谷の影響を受け、雲が広がりやすく日照時間は少なくなった。

気温は、期間のはじめと終わりに平年を下回る日があったが平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間も県内各地で概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 18.5～20.3℃（平年差 0.8～2.1℃）で高くなった。旬降水量は 12.5～47.0mm（平年比 23～53%）で少なく、旬日照時間は平年比 76～113%で平年並か少なくなった。

**5月中旬：天気は数日の周期で変化した。少雨。**

天気は、高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通り、数日の周期で変化した。14日から15日にかけては、前線を伴った低気圧が九州を通過したため県内各地で雨となったが活動は弱く、少雨傾向を改善する雨にはならなかった。

気温は、期間の中頃に平年を上回る日もあったが、その他は平年を下回る日が多く、旬では県内各地で概ね平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を上回るところが多かった。

県内各地の旬平均気温は 17.0～19.4℃（平年差 -0.7～0.4℃）で平年並または低くなった。旬降水量は 7.0～19.0mm（平年比 10～27%）で少なく、旬日照時間は平年比 92～109%で平年並となった。

**5月下旬：気圧の谷の影響で曇りの日が多く雨となる日もあったが天気の崩れは小さかった**

**八幡、博多、太宰府、添田、朝倉、英彦山、久留米、黒木、大牟田で、5月の「月降水量の少ない方から」の極値を更新。**

**九州北部地方（山口県を含む）は、30日ごろに梅雨入り。**

気圧の谷の影響で曇りとなる日が多かった。21日と25日は気圧の谷や低気圧の影響で雨となったが活動は弱く、25日に英彦山で 16mm の日降水量を観測した他は、県内各地の日降水量は 10mm未滿にとどまり降水量の少ない状態が続いた。また、八幡、博多、太宰府、添田、朝倉、英彦山、久留米、黒木、大牟田で5月の「月降水量の少ない方から」の極値を更新した。

福岡管区气象台は「九州北部地方（山口県を含む）は、30日ごろに梅雨入りしたとみられる」と発表した（平年は6月5日ごろ、昨年は5月21日ごろ）。

気温は、期間を通して平年を上回る日が多く、旬では県内各地で概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく下回り、日照時間も県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 19.2～21.4℃（平年差 -0.2～0.9℃）で概ね平年並になった。旬降水量は 5.5～24.0mm（平年比 15～54%）で概ね少なく、旬日照時間は平年比 76～98%で少ないところが多くなった。

(6) 6月の気象概況

**6月上旬：気圧の谷や前線の影響で曇りや雨となる日が多かった。寡照。**

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨となる日が多かったが、天気の流れは小さく少雨の状況が続いた。

気温は、平年を下回る日もあったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を大きく下回り、日照時間も県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 21.0～23.1℃（平年差 0.2～1.2℃）で概ね高くなった。旬降水量は 0.5～22.0mm（平年比 2～38%）で概ね少なく、旬日照時間は平年比 62～85%で少なくなった。

**6月中旬：高気圧に覆われて晴れる日もあったが梅雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多い。多雨。寡照。**

期間の前半、梅雨前線は九州の南海上にあつて県内への影響は少なく、高気圧に覆われて晴れる日があった。後半は梅雨前線の影響を受ける日が多くなり、16日は県の南部を中心に、18日は県の北部を中心に雷を伴った大雨となり、県内各地の降水量の少ない状況は解消した。また、19日には台風第4号が、九州の南海上を北東進し和歌山県に上陸したが県内への影響は少なかった。

気温は、変動が大きく、期間の前半は平年を上回る日が多かったが、後半は下回る日が多くなり、旬では平年を下回る所が多かった。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 21.4～23.5℃（平年差 -0.6～0.3℃）で概ね平年並。旬降水量は 112.5～214.0mm（平年比 153～271%）で多く、旬日照時間は平年比 49～79%で少なくなった。

**6月下旬：梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、24日は大雨。寡照。**

**24日に博多で、6月の「日降水量」の極値を更新。**

期間を通して、九州付近に停滞する梅雨前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、梅雨前線上を低気圧が通過した24日は、県内で91.0～158.5mmの大雨となり、博多では6月の「日降水量」の極値を更新した。

気温は、期間の終わりに平年を上回る日があったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を上回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 21.6～23.4℃（平年差 -1.8～-0.4℃）で低い所が多く、旬降水量は 118.0～328.5mm（平年比 76～159%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比 45～73%で少なくなった。

(7) 7月の気象概況

**7月上旬：期間の中頃まで梅雨前線の影響で曇りや雨、3日は大雨、終わりは高気圧に覆われて晴れ。3日に英彦山で年の、宗像で7月の「日最大1時間降水量」の極値を更新。**

期間の中頃まで九州付近に停滞する梅雨前線の影響で曇りや雨、暖かく湿った空気が流れ込んだ3日は雷を伴い県内全域で大雨となり、英彦山で86.5mm、宗像で62.0mmの日最大1時間降水量を記録し、英彦山は年間の、宗像は7月の「日最大1時間降水量」の極値を更新した。終わりは、梅雨前線が南下し高気圧に覆われて概ね晴れ、5月下旬ごろから続いていた寡照傾向は一旦解消した。

気温は、期間の中頃に平年を上回る日があったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で概ね平年を下回った。降水量は平年を上回る場所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は24.4～26.0℃（平年差-0.6～0.4℃）で平年並。旬降水量は95.5～322.5mm（平年比78～226%）で平年並のところが多く、旬日照時間は平年比66～96%で平年並となった。

**7月中旬：期間を通して曇りや雨の日が多い。県の南部で記録的な大雨。多雨。**

**14日に耳納山、黒木、添田、英彦山で「日降水量」の、耳納山、黒木、久留米、柳川で「日最大1時間降水量」の極値を更新。**

期間の中頃まで梅雨前線は、対馬海峡から朝鮮半島付近にあって、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、曇りや雨の日が多くなった。13～14日にかけては県内各地で大雨となり、特に県の南部で記録的な大雨となった。14日は耳納山と黒木で年間の、添田と英彦山で7月の「日降水量」の極値を、また、耳納山と黒木で年の、久留米と柳川で7月の「日最大1時間降水量」の極値を更新した。なお、11～14日にかけての豪雨は「平成24年7月九州北部豪雨」と命名された。

気温は、平年を下回る日があったが、平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量も県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は25.8～28.3℃（平年差0.4～1.8℃）で、概ね高くなり、旬降水量は245.5～762.5mm（平年比210～549%）で概ねかなり多く、旬日照時間は平年比69～91%で平年並のところが多くなった。

**7月下旬：太平洋高気圧に覆われて晴れたが、高気圧の周辺部となって雷雨となる日があった。**

**九州北部地方（山口県を含む）は、23日ごろに梅雨明け。**

**朝倉、久留米、耳納山で「月降水量の多い方から」の極値を更新。**

期間を通して太平洋高気圧に覆われて晴れたが、はじめと終わりに高気圧の周辺部となって雷雨となる日があった。

福岡管区気象台は「九州北部地方（山口県を含む）は、23日ごろに梅雨明けしたと見られる」と発表した（平年は7月19日ごろ、昨年は7月8日ごろ）。また、朝倉で902.0mm、久留米で890.0mm、耳納山で1241.5mmの月降水量を記録し、「月降水量の多い方から」の極値を更新した。

気温は、期間のはじめ平年を下回る日もあったが、その後は平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は27.2～29.5℃（平年差0.3～1.7℃）で、概ね高くなった。旬降水量は0.0～156.5mm（平年比0～223%）で平年並のところが多く、旬日照時間は平年比107～138%で多いところが多かった。

(8) 8月の気象概況

**8月上旬：太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かったが期間の終わりに湿った気流の影響で曇りや雨。**

**10日に福岡で8月の「日最小相対湿度」の極値を更新。**

期間を通して太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、終わりに湿った気流の影響で曇りや雨となる日があった。

10日は高気圧に覆われて良く晴れ、福岡では8月の「日最小相対湿度」の極値を更新した。

気温は、期間の終わりに平年を下回る日もあったが、期間を通して概ね平年を上回り、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は27.3～29.9℃（平年差0.4～1.7℃）で、概ね高くなった。旬降水量は0.0～29.5mm（平年比0～68%）で概ね少なく、かなり少ないところもあった。旬日照時間は平年比102～132%で、概ね平年並となった。

**8月中旬：期間の前半は湿った気流の影響で曇りや雨、後半は太平洋高気圧に覆われて晴れたが強い日射の影響で雷雨となる日があった。**

**14日に宗像で8月の「日最大1時間降水量」の極値を更新。**

期間の前半は湿った気流の影響で曇りや雨となった。14日は雷を伴って非常に激しい雨が降り、宗像では03時28分までの1時間に58.0mmの雨量を観測し、8月の「日最大1時間降水量」の極値を更新した。15日からは太平洋高気圧に覆われて概ね晴れたが、午後は強い日射の影響で雷雨となる日があった。

気温は、期間の前半は平年を下回る日が多く、後半は平年を上回り、旬では県内各地で概ね平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は26.7～29.0℃（平年差-0.3～1.3℃）で、平年並の所が多かった。旬降水量は42.5～212.0mm（平年比69～310%）で概ね多く、旬日照時間は平年比80～107%で、平年並か少なくなった。

**8月下旬：期間の中頃に晴れる日もあったが台風や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。**

期間のはじめは湿った気流の影響で曇りや雨、雷を伴う日もあった。中頃は太平洋高気圧に覆われて晴れる日もあったが、後半は台風第15号、第14号や湿った気流の影響で曇りや雨となった。

気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、期間を通して平年を上回る日が多く、旬では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を下回るところが多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は26.4～28.6℃（平年差0.3～1.7℃）で、概ね高くなった。旬降水量は23.0～94.5mm（平年比40～121%）で平年並のところが多く、旬日照時間は平年比69～94%で、平年並か少なくなった。



(9) 9月の気象概況

**9月上旬：期間のはじめは高気圧に覆われて晴れた日が多かった。その後は湿った気流や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。**

期間のはじめは高気圧に覆われ晴れた日が多かった。その後は湿った気流や前線、上空の寒気の影響で曇りや雨となる日が多く、雷を伴う日もあった。

気温は、期間のはじめ平年を下回る日もあったが、その後は平年を上回る日が多く、旬では県内各地で概ね平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回るところが多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 24.8～26.9℃（平年差-0.7～1.1℃）で、平年並の所が多かった。旬降水量は 10.5～129.5mm（平年比 13～212%）で少ないところが多く、旬日照時間は平年比 70～96%で、平年並のところが多くなった。

**9月中旬：期間のはじめと終わりは晴れたが中頃は前線や台風第16号の影響で曇りや雨。**

期間のはじめと終わりは高気圧に覆われ、上空の気圧の谷の影響で薄雲が広がる日もあったが概ね晴れた。中頃は前線や台風第16号の影響で曇りや雨となった。

気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、その他は平年を上回り、旬では県内各地で平年を概ね上回った。降水量は県内各地で平年を下回るところが多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 23.5～25.2℃（平年差-0.9～1.2℃）で、概ね平年並、旬降水量は 16.5～116.5mm（平年比 43～207%）で平年並か多いところが多く、旬日照時間は平年比 76～90%で、概ね少なくなった。

**9月下旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったが期間のはじめと終わりは気圧の谷や台風の影響で曇りや雨。**

期間を通して高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、はじめは気圧の谷や湿った空気の影響で、終わりは台風第17号の影響で曇りや雨となった。

気温は、期間の中頃に平年を上回る日があったが、その他は平年を下回り、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 19.7～22.3℃（平年差-1.9～-0.4℃）で概ね低く、旬降水量は 2.5～37.5mm（平年比 4～49%）で概ね少なく、旬日照時間は平年比 107～127%で、概ね多くなった。

(10) 10月の気象概況

**10月上旬：雲の広がる日もあったが高気圧に覆われて晴れる日が多かった。少雨。多照。**

湿った空気や気圧の谷の影響で雲が広がり一時雨の降る日もあったが、高気圧に覆われて晴れる日が多く、県内全域で少雨、多照となった。

気温は、平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では平年を下回る所が多かった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 18.0～21.1℃（平年差－1.3～0.3℃）で概ね平年並、旬降水量は 0.0～0.5mm（平年比 0～1%）でかなり少なく、旬日照時間は平年比 127～151%で、概ねかなり多くなった。

**10月中旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かった 17日は前線の通過でまとまった雨。**

高気圧に覆われて晴れる日が多かった。17日は日本海の低気圧から延びる前線や湿った気流の影響で、県内で 20.0～73.5 mmのまとまった雨となり、9月下旬から続いていた少雨の状況は解消した。

気温は、期間の中頃に平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では概ね平年を下回った。降水量は平年を上回るところが多く、日照時間も概ね平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は 16.1～19.2℃（平年差－1.3～0.1℃）で平年並のところが多く、旬降水量は 20.0～73.5mm（平年比 87～306%）で概ね多く、旬日照時間は平年比 98～115%で、概ね平年並となった。

**10月下旬：天気は数日の周期で変化した。**

高気圧と低気圧または気圧の谷が交互に通る、天気は数日の周期で変化した。低気圧が通過した 22～23 日にかけては県南を中心にまとまった雨となった。

気温は、数日の周期で寒暖を繰り返したが、旬では平年を上回るところが多かった。降水量は概ね平年を上回り、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は 14.7～17.6℃（平年差－0.8～0.6℃）で概ね平年並、旬降水量は 12.5～77.5mm（平年比 73～443%）で概ね多く、旬日照時間は平年比 84～108%で概ね平年並となった。

(11) 11月の気象概況

**11月上旬：天気は数日の周期で変化した。**

低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。期間の前半は寒気の影響を受けた。4～5日にかけては前線を伴った低気圧が日本海を通過し、雷を伴って県内で13.5～44.0mmの雨となった。

気温は、期間の前半は平年を大きく下回る日が多く、後半は平年を上回る日もあったが、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は概ね平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は11.5～14.8℃（平年差-2.7～-0.6℃）で概ね低く、旬降水量は16.5～46.0mm（平年比57～141%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比80～106%で概ね平年並となった。

**11月中旬：低気圧や気圧の谷の影響で天気は短い周期で変化した。期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた。多雨。**

**八幡、博多、太宰府で「日最大風向・風速」の11月の極値を更新。**

期間の中頃までは低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通り、天気は短い周期で変化した。終わりは高気圧に覆われて晴れた。11日は低気圧の通過で風が強くなり八幡で8.0m/s、博多で13.0m/s、大宰府9.8m/sの日最大風速を観測し、11月の「日最大風向・風速」の極値を更新した。13日は上空の寒気の影響で雷を伴った雨となった。17日は九州北部付近を低気圧が通過したため、県内で19.5～62.0mmのまとまった雨となった。

気温は、期間のはじめに平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は9.4～13.0℃（平年差-1.9～-0.4℃）で概ね低く、旬降水量は42.0～88.0mm（平年比140～319%）でかなり多いところが多く、旬日照時間は平年比101～119%で概ね平年並となった。

**11月下旬：低気圧や気圧の谷の影響で天気は短い周期で変化した。期間の後半に冬型となる日があった。**

**朝倉で28日に「日最低気温の低い方から」の、博多で「月平均気温の低い方から」の11月の極値を更新。**

期間を通して低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通り、天気は短い周期で変化した。24日と26日は県内各地で雨となり、26～27日にかけては強い冬型気圧配置となった。28日は、放射冷却により内陸を中心に冷え込み、朝倉で日最低気温-2.0℃を記録し、「日最低気温」の11月の極値を更新した。博多では月平均気温が12.2℃を記録し「月平均気温の低い方から」の11月の極値を更新した。

気温は、周期的に変化した。期間の後半は平年を大きく下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は平年を下回る所が多く、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は8.1～11.1℃（平年差-1.6～-0.6℃）で概ね低く、旬降水量は11.0～45.0mm（平年比40～158%）で概ね平年並、旬日照時間は平年比63～84%で概ね少なくなった。

(12) 12月の気象概況

**12月上旬：期間を通して冬型の気圧配置となる日が多く寒気の影響を受けた。終わりは強い冬型。低温。**

**福岡では6日に初雪、7日に初氷、9日に初冠雪を観測。**

期間を通して冬型の気圧配置となる日が多く寒気の影響を受けた。終わりは強い冬型となり、福岡では6日に初雪(平年より9日早く、昨年より10日早い)、7日に初氷(平年より9日早く、昨年より13日早い)、9日に初冠雪(脊振山、平年より1日遅く、昨年より8日早い)を観測した。

気温は、期間を通して平年を下回る日が多く、大きく下回る日もあり、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は4.6~7.6℃(平年差-2.8~-1.9℃)で低く、旬降水量は9.5~31.0mm(平年比45~104%)で平年並、旬日照時間は平年比63~94%で概ね平年並となった。

**12月中旬：期間のはじめと終わりは冬型の気圧配置。中頃は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨。**

期間のはじめと終わりは冬型の気圧配置となり寒気の影響を受けた。中頃は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となる日が多く、14日は低気圧の接近により県内各地で5.0~26.0mm、15日は寒冷前線の通過で6.0~18.5mmの降水となり、この時期としてはややまとまった雨となった。

気温は、期間の中頃は平年を上回ったが、はじめと終わりは平年を下回り、旬では県内各地で概ね平年を下回った。降水量は県内各地で概ね平年を上回り、日照時間は県内各地で概ね平年を上回った。

県内各地の旬平均気温は5.5~8.4℃(平年差-0.8~0.0℃)で概ね平年並、旬降水量は16.0~39.5mm(平年比84~278%)で多い所が多く、旬日照時間は平年比89~128%で概ね多くなった。

**12月下旬：期間の中頃に晴れる日もあったが低気圧や前線、気圧の谷の影響で雨となる日が多かった。低温。多雨。**

**柳川で「月降水量の多い方から」の12月の極値を更新。**

期間の中頃は高気圧に覆われて晴れたが、低気圧や前線、気圧の谷の影響で雨となる日が多く、28日は前線を伴った低気圧の通過で雨が降り、県内で25.0~39.0mmのまとまった雨、30日は寒冷前線の通過に伴って8.5~22.0mmの雨となった。12月は降水量が多くなり、柳川では97.0mmの月降水量を記録し「月降水量の多い方から」の12月の極値を更新した。

気温は、期間のはじめと終わりに平年を上回る日もあったが、平年を下回る日が多く、旬では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を下回った。

県内各地の旬平均気温は3.9~6.8℃(平年差-2.0~-0.9℃)で低く、旬降水量は50.0~89.5mm(平年比181~442%)でかなり多く、旬日照時間は平年比50~75%で概ね少なくなった。

(13) 月別値の階級区分

福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
平成 24 年 1 月	低い	かなり少ない	平年並
平成 24 年 2 月	かなり低い	かなり多い	かなり少ない
平成 24 年 3 月	平年並	平年並	平年並
平成 24 年 4 月	高い	少ない	多い
平成 24 年 5 月	高い	かなり少ない	平年並
平成 24 年 6 月	平年並	平年並	少ない
平成 24 年 7 月	高い	多い	平年並
平成 24 年 8 月	高い	多い	平年並
平成 24 年 9 月	平年並	平年並	平年並
平成 24 年 10 月	平年並	平年並	多い
平成 24 年 11 月	低い	多い	平年並
平成 24 年 12 月	低い	かなり多い	少ない

階級区分について

気象要素の分布を値の大(高)、小(低)によって、「高い(多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」(1:1:1)の等確率で、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」の出現率は10%です。